

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：アイン金沢文庫保育園	種別：認可保育園
代表者氏名：本間 章子	定員（利用人数）：79 名
所在地：〒236-0042 横浜市金沢区釜利谷東2-19-35	
TEL：045-785-0115	ホームページ： https://www.ein-group.com/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2013年04月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：中央出版株式会社	
職員数	常勤職員：16 名 非常勤職員：7 名
専門職員	（専門職の名称）： 名
	保育士：23 名 栄養士：1 名
	調理師：1 名
施設・設備 の概要	（居室数）
	（設備等）
	乳児室3室 調乳室1室
	幼児室3室 調理室1室
	事務室1室
	園庭
	屋上園庭

③理念・基本方針

<理念>

みらいを生き抜く力を育てる

<保育理念>

- ・子どもたちに、挑戦する心、諦めない心、感謝の心を持ち、元気な大人になるための環境を提供します。
- ・愛情を持った「共育」を実施し、生きる力と夢を持った子どもを育てます。

<基本方針>

1. 安心・安全
2. 共育
3. 地域のニーズに応える
4. 豊かな人間性

④施設・事業所の特徴的な取組

＜アイン金沢文庫保育園の特徴的な取り組み＞
法人内／全体研修・階層別研修・エリア内研修・研究発表
外部研修、キャリアアップ研修、他園への見学・交流等

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年08月28日（契約日） ～ 2021年03月31日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2015年度）

⑥総評

【アイン金沢文庫保育園の概要】

●アイン金沢文庫保育園は、中央出版株式会社（以下、法人という）の運営です。法人は、横浜市に6園、川崎市に3園、そして愛知県に4園のアイン保育園を運営・展開しています。理念に「みらいを生き抜く力を育てる」を全園統一して浸透させ、大人も共に成長する「共育」を法人独自の教育方針に掲げ、子どもの「生きる力」を育むために、「モンテッソーリ教育」、「英語教育」、「書道教室」、「体操教室」、「絵本の読み聞かせ」、「Webオンライン保育」等、様々な教育に取り組んでいます。

●アイン金沢文庫保育園は、京浜急行線金沢文庫駅から徒歩で7分程度、金沢八景の「小泉の夜雨」付近に位置し、京浜急行の特急停車駅の「金沢文庫」、「金沢八景」駅を中心にシーサイドラインも走る利便性の良い地に所在しています。アイン金沢文庫保育園は、2階建ての柔らかい色合いの園舎が印象的です。定員79名の中規模園であり、0歳児6名、1歳児12名、2歳児13名、3歳以上児は各16名の子どもたちを預かり、保育士との愛着関係と環境作りを大切に保育に当たっています。園舎1階は、玄関を入れて左側に0歳児保育室があり、玄関から突き当りに1歳児保育室を設けています。2階は、階段上右側に5歳児保育室、4歳児保育室、3歳児保育室を配置し、左側は2歳児保育室となっており、地上と屋上に園庭を有し、自由保育を展開する素地を整えています。

◇特に評価の高い点

1. 【自由保育と異年齢保育の徹底】

●モンテッソーリ理論に裏付けられた「自由保育」の徹底を全職員へ指導しています。子どもの意思を尊重し、保育室にコーナーを多く設け、子どもが自主的にコーナーを選択して遊び、職員が見守る中、子どもたちは個々に思いを巡らせながら創造豊かに遊び、自由に時間を過ごしています。また、園では、「異年齢保育」を年間通して実施するよう、年齢に応じて配慮と工夫が成されています。2歳児は、3歳児になる4月から半年程度は環境に慣れるよう3歳児だけ別クラスとし、4歳～5歳児で縦割り保育を行っています。12月頃から5歳児は、就学に向けたアプローチカリキュラムが開始され、5歳児だけ別クラスとなり、3歳～4歳児で縦割り保育が実施されます。自由保育と異年齢保育を上手く組み合わせた保育が実施され、子どもたちは伸び伸びと明るく、職員も子どもも笑顔が溢れています。

2. 【研修制度の充実】

●新任職員は、内定時に「内定者フォロー研修」や宿泊合同研修が実施され、法人ならではの教育・研修体制が設定されており、入職3ヶ月目には、「新卒フォローアップ研修」も用意され、「人財」として手厚く育成がされています。さらに、階層別の研修も年4回予定され、神奈川県（横浜市・川崎市）の系列園9園を、3エリアに分け、エリアごとに研修が行われています。アイン金沢文庫保育園が属するエリア3園は近傍であり、持ち回

りによる研修開催と共に情報交換の機会にしています。現在は、新型コロナウイルス感染症予防のためオンライン研修としています。また、年2回、法人全体研修が実施され、後半の研修では愛知県の4園も含めた全13園の各園が、それぞれの研究成果発表会を実施し、優秀賞を選出し、日頃の研鑽・成果の場となっており、職員のスキルアップの励みにつながっています。

3. 【地域との交流への努力】

●アイン金沢文庫保育園は開園8年目ですが、金沢区独自の「赤ちゃんの駅」に登録し、地域の子育て世代のオムツ交換と授乳場所の提供を行い、離乳食講座も開催する等、地域の子育て親子を支援しています。また、園の季節の行事、雛祭りや七夕祭りには地域住民を招き、町内会の夏祭りには職員が御神輿の担ぎ手になり、良好な関係が構築されています。近隣の大学ラグビー部宿舎の部員に当園の運動会の資材を運んでもらう等の協力も得ています。さらに、近隣の高齢者施設や障害者活動拠点との交流もあり、幅広く地域との交流が積極的に図られています。法人として、「ファンメイキングプロジェクト」を実施しており、地域にファンを創るべく様々なアイデアを企画して、近隣の公園の掃除や、散歩時には積極的に地域の方に挨拶する等、地域の中の保育園として交流を深めています。

4. 【コロナ禍での配慮】

●今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、ステイホームを余儀なくされましたが、アイン金沢文庫保育園では職員が「ステイホーム・キット」を製作して配付しました。ステイホーム中の子ども・保護者を支援するこの取り組みは、理念、方針の「みらいを生き抜く力を育てる」の具現化であり、また、子どもへの愛情、心温まる取り組みに、園の企画と職員の努力は高く評価されます。

◇改善を求められる点

1. 【中・長期計画の策定について】

●アイン金沢文庫保育園では、法人が示す中・長期的なビジョンの下、数年後の園の理想とする姿を見通し、ビジョンを策定し、文書として明示しています。また、法人が示す経営課題や問題点の解決・改善に向け、毎年、目標達成に向かえるよう計画を立て、数値目標や具体的な成果等を設定し、実施状況の評価を行っていますが、明確な「中・長期計画」は示されませんでした。また、単年度の計画は、中・長期的な計画（ビジョン）に基づいて、『全体的な計画』として作成され、実施状況の評価が行える計画とされていますが、法人で明確な「中・長期計画」を作成され、園として中・長期計画に基づいた、「単年度事業計画」を作成していかれることが望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名： アイン金沢文庫保育園

<評価に取り組んだ感想>

開園から8年が経ち、2度目の受審をいたしました。新しい評価基準での受審となり、前回との違いに戸惑いもありましたが、進めるうちに職員それぞれが、保育園、保育士に求められることが変わってきていることにも気づくことができました。

職員がそれぞれ、自らの取り組みと向き合い自己評価を行い、意見交換等をする中で、園の全体像が浮かび上がり、課題も明確になりました。受審結果と合わせ、真摯に受け止め、課題に取り組んで参ります。また、良い所にも気づくことができ、励みとなりました。

最後になりましたが、今回の受審にあたり、ご尽力いただきました評価機関の皆さま、お忙しい中、利用者調査にご協力いただいた保護者の皆さまに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

<評価後取り組んだ事として>

1. 職員研修の見直しを行い、スリム化した。
2. 新年度に向け、ホームページの充実を検討している。
3. 中・長期計画を法人と共有し、単年度事業計画を検討中。

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり